



# ひなた教師塾通信 No.6



## 第8回ひなた教師塾は

Zoomを使ってオンラインで行いました。

第8回 3月13日(土) 9時30分~11時30分

### ◎研修内容

- 講義 子供の現状や学校の安全について学ぼう  
~生徒指導・学校安全の基本~
- 説明 次年度の採用試験の変更点について
- 講話 今後に向けて  
(講義、説明はオンライン、講話はオンデマンド)
- まとめ 1年間を振り返って

### ◎参加者数

随時的任用講師等19名、大学4年生等9名、  
大学3年生等30名、計58名

第8回は、今年度最後のひなた教師塾でした。2月13日(土)に計画していた第7回ひなた教師塾は、緊急事態宣言期間中につき実施できませんでしたので、約2か月半ぶりの研修となりました。



1コマ目は、人権同和教育課 川口直副主幹による、生徒指導・学校安全についての講義でした。

主な講義内容は、生徒指導全般について、生徒指導提要に明記されている理論的なことや、暴力行為、いじめ、不登校、学校安全について、国や本県の現状に触れ、今後学校で勤務する上で意識してほしいこと等についてでした。アンケートにも「生徒指導はすべての児童生徒を対象に行うものであることが理解できた」、「不登校やいじめの問題は、学級担任が一人で抱え込まず組織で対応することが大切であると感じた」、「宮崎県は不登校の未然防止に力を入れていることが分かった」、「学校安全計画や危機管理マニュアル等を常に確認しておき、日頃から地域の関係機関と連携しておくことが大切だと思った」等の感想が寄せられました。



2コマ目は教職員課 根井清副主幹より、次年度の採用試験の変更点について説明がありました。実施要項は3月22日(月)より配付予定となりますので、詳細は、実施要項で確認してください。



3コマ目は、教職員課 東宏太郎課長の「今後に向けて」と題したオンデマンドによる講話でした。その中で、東課長は「学び続けようとする人材を本県では求めています。このような姿勢が自分を磨き、向上させることにつながります。」と言われました。また、

「今の教育界はパラダイムシフト(その時代や分野において、当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観が、革命的・劇的に変化すること)の時期です。そのような変化の大きい時期だからこそ、どこに向かって自分を磨き、向上させるのか?自分の進

むべき理想像を明確に描いてほしいと思います。」と言われ、最後に以下の言葉を贈ってくださいました。

### 【ウィリアム・アーサー・ワードの言葉】

**平凡な教師は、言っただけで聞かせる。  
よい教師は、分かりやすく説明する。  
優秀な教師は、自らやってみせる。  
しかし、最高の教師は、子どもの心に火をつける。**

最後に、「1年間を振り返って」として、ブレイクアウトルームを活用し、協議を行いました。私達も、いくつかのグループに参加して協議の様子を聞かせてもらいましたが、どのグループも初対面の方ともしっかりと協議がなされており、担当者としてうれしく感じたところです。協議の様子を拝見して、新しい生活様式に即した、研修スタイルの可能性を見いだすことができた有意義な時間となりました。

### 受講者の感想より

- ブレイクアウトセッションを通して、他大学の人と交流でき、考えを聞くことはとても刺激になりました。車を持っていないため、Zoomでの研修は参加しやすかったです。
- グループ協議では、同じように採用試験を目指している仲間や、実際に学校で働いている方とお話することができました。私も教師になることがゴールではなく、教師になってからも学び続ける姿勢を忘れないようにしようと思いました。
- 1年間を通して、特に学校での実践的な内容を知ることができたことが一番の学びでした。教育実習に臨むにあたっての心構えや、授業づくりに関すること、児童生徒との関わりに関することまで、自分の中でより具体的に目標を設定して取り組むことができたので、とても深い学びとなりました。
- 今回、Zoomに初挑戦(初体験)できていい経験になりました。ひなた教師塾に毎回参加させていただき、本当に刺激を受け、勉強になりました。おかげさまで、4月から本採用として勤務することができます。今年度のひなた教師塾で学んだことを生かして、信頼される教師になりたいと思います。
- 学校教育また先生としての在り方を見直し、どのような教育が求められているのか、もう一度考える必要があると再認識できました。1年間を通して学んだことを振り返り、共有したことで、他の受講生の学びの視点から自己の学びを振り返ることができ大変有意義でした。来年度からは、新規採用者として働くため、ひなた教師塾に参加して得られた学びを、子供たちや学校のために精一杯生かしていけたらと思います。

今回は、最後の研修でしたので、今回の感想にとどまらず、これまでを振り返っての感想等、いつも以上にかなりの分量を書いてくださいました(全員分を紹介できないのが残念です)。

全8回中、オンデマンドによる代替措置や他の回に振り替えという形をとることもありましたが、ほぼ計画どおりに実施できました。受講者の皆さんが、土曜日という休みの時間を使って自己研鑽に励んでくださったことに敬意を表したいと思います。

別紙パンフレットのとおりに、令和3年度も8月から毎月1回ずつ計画しています。授業力向上を核として、その土台となる学級経営、生徒指導、特別支援教育にも触れながら研修を重ねていきます。また、より充実した研修となるよう、県内の優れた指導力をもつ先生方の実践発表を本年度以上に計画していますので、どうぞお楽しみに!! 本年度受講者された皆様の来年度の飛躍を祈念しております。

文責 宮崎県教育研修センター  
学習研修課 課題別研修担当